

1班による学習成果発表

グループメンバー

穂高西中学校 荒井悠ノ介

豊科北中学校 伊藤 大雅

堀金中学校 百瀬 唯希

三郷中学校 荒深 来実

豊科南中学校 中野 和菜

松本大学 平和創造研究会 神戸美乃里

グループの学習テーマ

『原爆が人々の生活に与えた影響』

- ・ 思っていたよりも被害が大きかった。
- ・ 放射線などの二次被害が大きかった。
- ・ 中学生で被害に遭う人もたくさんいた。
- ・ 身体への影響が大きかった。

平和記念資料館の展示物で 印象に残ったもの

- 弁当箱
- 三人の中学生の遺品
- 身体に与えた影響
- 被爆者の方が描いた絵

弁当箱

県立広島第二中学校 1年生の折免滋さん(当時13歳)は、建物疎開の作業現場で被爆し、亡くなりました。

この弁当箱と水筒は、骨になった滋さんの遺体を母親が見つけた時、遺体の下にあったものです。

折免シゲコ 寄贈
広島平和記念資料館 所蔵



3人の中学生の遺品

建物疎開作業中に被爆し、亡くなった3人の中学生が、当時身につけていたもの

帽子、ベルト

市立中学校1年生の津田栄一さん
(当時13歳)の遺品。

父親は怪我を負いながらも栄一さんを捜し、被爆翌日、天満橋付近で遺体を見つけました。

津田 蔵吉 寄贈
広島平和記念資料館 所蔵



学生服

市立中学校2年生の福岡肇さん（当時14歳）の遺品。

同級生の父親が届けてくれたこの学生服は、左胸の名札がかろうじて読み取れ、唯一の確実な遺品となりました。

福岡 重春 寄贈
広島平和記念資料館 所蔵



ゲートル (脚はん)

市立中学校 1 年生の上田正之さん
(当時12歳) の遺品。

必死に捜していた父親と姉に福島町
にいるという知らせは届かず、家族
に会えないまま、亡くなりました。

上田 キヨ 寄贈
広島平和記念資料館 所蔵



身体に与えた影響

火傷を負った女性



尾糠 政美 撮影
広島原爆被災撮影者の会 提供

傷を負った子ども



8月7日～20日ごろ 段原山崎町 市立第一国民学校
陸軍船舶司令部写真班 撮影 長岡 省吾 収集・提供

顔と両腕に火傷を負った子ども



8月7日～20日ごろ 段原山崎町 市立第一国民学校
陸軍船舶司令部写真班 撮影 長岡 省吾 収集・提供

被爆者の方が書いた絵

飛び出て垂れ下がった目玉を手で受け止める



8月6日午前9時ごろ 爆心地から360m 基町 西練兵場
内田 栄一 作 広島平和記念資料館 所蔵

防火用水で息絶えた人々



爆心地から1,300m 天満町電車通り
小野木 明 作 広島平和記念資料館 所蔵

見学をする中で新たに知ったこと



- ・建物疎開では中学生が労働力になっていた。8月6日は大規模な作業日だったため、多くの中学生が外に出ていた。

そのため、多くの中学生が原爆の被害にあった。

・原爆による被害は熱風による被害が大きいのと思っていたが、放射能による被害も大きく、脱毛や吐血、ひどい場合は造血障害に苦しんだ。

- ・ 平和記念式典に関心を持っているのは日本人がほとんどだと思っていたが、外国の人の参加者も大勢いた。世界的に見ても関心が高いのだと思った。

- ・直接的に原爆による被害がなかった人が、放射能を知らず、家族や遺品を探して広島に来たことで被爆してしまうことがあった。

伝えていきたいこと

- 身近な人に原爆の恐ろしさ（放射能など）を伝えたい
- 若い人に、原爆によって何が起きたかを伝えたい
- （同世代の）中学生に、いまでも後遺症などによって苦しんでいる人がいることを伝えたい
- 友達に、平和の大切さを伝えたい
- 学校の先生に、教科書に載っていないことを伝えたい

この事業に参加した感想

ご清聴ありがとうございました